

資料4 2018/3/22  
平成29年度 第2回 (臨時) 評議員会



## ジュニアJPINの件

平成30年3月22日  
公益財団法人日本テニス協会

(担当：ジュニア委員会、JPIN委員会、総務委員会)

# ご報告の目的

J-PIN 運用

4/1  
試行 (年)



・シニ記録、登録費、登録料、登録料  
◎1000円以上の収入については、  
前年度に比し、その半額で決まるとは  
聞いていない(関西)

1. プロジェクトと意義と目的について

2. 発足と運営に向けた手順について

3. JPINシステムの概要について

4. 運用開始に向けた準備状況について

5. 継続して検討すべき課題について

# プロジェクトの意義・目的



- ▶ 全国ジュニアランキングを発足させ、統一的な評価軸を設ける
- ▶ 一元的なジュニア選手データベースの構築し、主に普及育成事業で活用
- ▶ TPやランキング管理システムを導入し、大会運営の標準化・負担軽減

# 発足と運営に向けた手順について



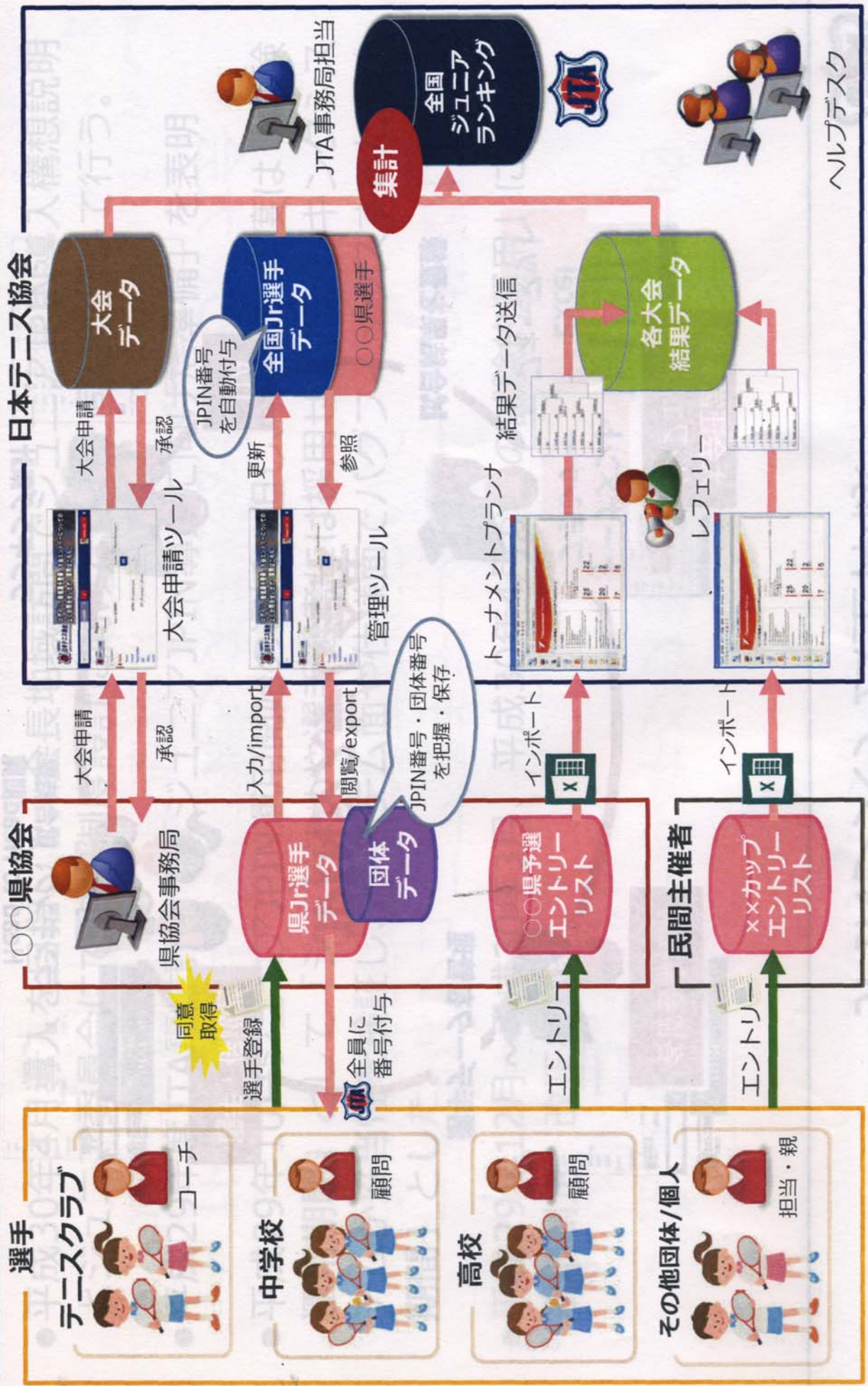
- 平成30年4月導入を目指して、会長地域訪問でジュニアJPIN導入構想説明とジュニア委員会にてJPIN制度設計に向けた協議を同時並行して行う。
- 平成29年度JTA事業計画で「ジュニアJPIN導入に向けた準備」を表明
- 平成29年10月ジュニアJPIN運用開始の通知。但し、平成30年度は「試験運用期間」として「シード決めや選手選考には採用せず、ランキングシステムが妥当性を検証し、システム面や仕様面でバグフィックスするための期間」とした。
- 平成29年12月～平成30年3月、平成30年4月からの試験的運用」に必要な規則制定、改正を行う。

# JPINシステム全体像





# ジュニアJPIN詳細





# ロードマップ

		2018年度																			
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
選手データ収集	各県よりデータ収集 データベース一括投入																				
選手データ管理ツール	動作テスト・デバッグ マニュアル作成 ツール公開																				
トナーメントプランナー導入	動作テスト・デバッグ マニュアル作成 ツール公開 TP研修会																				
大会申請ツール開発・申請受付	ツール開発 マニュアル作成 2018年度申請受付 大会カレンダー公開																				
全国ジュニアランキング開発	システム実装 マニュアル作成 2018年度申請受付 実データによる検証期間 マニユアル作成																				
ヘルプデスク構築・運用	業者選定 稼働開始（試験運用） 選手登録対応 大会申請対応 本契約 ランキング運用業務開始																				

**試験運用期間**  
 シード決めや選手選考には採用せず、  
 ランキングの精度や妥当性を検証し、  
 システム面や仕様面のバグフィックスする  
 ための期間を設ける。



## このプロジェクトで実現されること



### ➤ **全国ジュニアランキングの発足**

- ◆ 県を跨いだ地域・全国大会における選手選考の基準とする
- ◆ ジュニア育成活動上のもものさしとする
- ◆ 国際大会へ出場する際の実力評価、国際ポイントも算入

### ➤ **一元的なジュニア選手データベースの構築**

- ◆ 全国統一の重複のない番号を振り、大人になっても使用可能なものとする
- ◆ フェアプレー・アンチドーピング等の啓蒙情報の発信先として
- ◆ 普及・育成活動やテニス統計調査のための基礎データベースとして

### ➤ **TPや各種管理ツールの導入による運用標準化・負担軽減**

- ◆ 各県協会事務局の大会運営業務（ランキング収集、ドロー抽選、シード順位付け、コンソレ運用、大会結果報告等）の業務負担軽減
- ◆ JTA事務局の大会申請、大会カレンダー作成、結果集計等事務局業務を簡易化

→ **ジュニア選手を取り巻くインフラ環境を海外と同等レベルに**





平成29年12月 JTA公式トーナメント管理規程の変更 (臨時理事会)

平成30年 1月 JTAジュニア大会管理細則の改正  
 JTAジュニア選手登録基準の制定  
 JTAジュニアランキング細則の制定  
 (常務理事会)

※以上はJTA TENNIS RULE BOOK 2018に反映

平成30年 3月 一部選手の費用負担額を地域大会以上のエントリーごとに  
 1,000円の負担を求める決議 (常務理事会)

平成30年 3月 選手・審判員等登録規程及び選手登録細則の改正  
 (通常理事会)

一般 4000名  
 シニア 40000人 → 6000名  
 (495大会 + 600大会)  
 ※ 1000円〜2000円と登録料を減らす  
 登録番号. 作業も減らす. {クラブ. 学校.}  
 ① 県レベルの登録料. 使用料をいたさない  
 地域大会以上の選手に負担.  
 以下を減らす

登録番号  
 (2017年以降 + 番号 → 番号.  
 一桁インポートツールは厚紙)  
 選手一覧のエクセルにトビ添える.  
 ウェブ上で個人データ管理ができる  
 ※大会登録ツールも開発をせめて

# 試験運用期間での全国ジュニアランキング対象大会



地域以上の大会から行う

- ・ MUFGジュニアテニストーナメント
- ・ DUNLOP CUP 全国選抜ジュニアテニス選手権大会
- ・ 第一生命全国小学生テニス選手権大会
- ・ 全国高等学校総合体育大会テニス競技
- ・ DUNLOP SRIXON 全日本ジュニアテニス選手権
- ・ 全国中学生テニス選手権大会
- ・ RSK 全国選抜ジュニアテニス大会
- ・ 中牟田杯U-15全国選抜ジュニアテニス選手権大会
- ・ 全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会
- ・ 上記全国大会予選以外の地域・都府県協会主催ジュニア大会



- ・実データによる大会グレードの見直し
- ・ランキングテーブルの見直し
- ・大会結果データの報告方法の経過措置への対応
- ・JPIN利用料の地域・都道府県テニス協会負担について

地域・都道府県テニス協会の費用負担の件については、担当委員会による提案内容の精査を行い、地域・都道府県テニス協会との理解を得る形で4月常務理事会での決議、5月理事会6月評議委員会での報告を目的に成案をまとめる予定。

大会運営方法の見直しやシステム変更に一定の時間を要するなど、すぐさま対象の全大会でのトーナメントプランナーの使用が難しい地域・都道府県テニス協会に対しは、導入初年度の経過措置として、所定のExcelフォーマットでの大会結果報告の受付をさせていただく方向で成案を準備中。